

<令和7年度の導入事例の紹介>

3次元ソリッド板金CADシステムの導入による生産性の向上

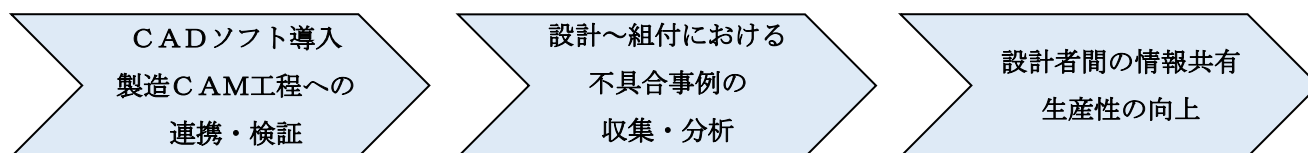
有限会社早野研工

【課題】

- ・ 板金製造業で主に使用されている2DCADは、アセンブリ（組立品）に対応しておらず、板金部品以外（樹脂や機構部品）を組み込んだアセンブリ状態での部品同士の干渉や耐荷重、重心、バランスを考慮した設計ができていなかった。
- ・ 製品組付段階で不具合が見つかり、設計から再検討が必要になる事例が発生していた。
- ・ 図面の検証作業は、ベテラン社員に依存しており、業務が属人化していた。
- ・ 設計CADと製造CAMが連携していないため、CAMデータの検証に時間を要していた。

【事業内容】

- ・ 3次元ソリッド板金CADシステムを導入し、CADデータ作成から溶接組付までの作業時間削減、品質確保、設計業務の脱属人化を図った。また、従来の2DCADシステムで発生していた設計ミスによる手戻りがなくなり、生産性の向上につながった。



【事業効果】

- ・ 3次元ソリッド板金CADシステムの導入により、アセンブリにした状態で干渉がないか事前に確認・修正できるようになり、生産性の向上に繋がった。
- ・ 設計CADと製造CAMを連携することにより、作業時間が削減した。
- ・ アセンブリ時の不具合事例を収集し、設計にフィードバックすることで、設計業務の脱属人化につながった。